

# ホーグカ

和東保育園運動会



## 第3回定例会

決算 令和元年度決算概要・主な質疑 >>> P.2

決まったこと 補正予算他 >>> P.5

一般質問 4人が町政を問う >>> P.7

委員会報告 総務厚生・産業他 >>> P.12

まちの元気 和東小学校 竹花真治校長先生 >>> P.14

# コロナ禍の中で づくりは

# 令和元年度 決算を チェック!

決算審議では、町から①保育料無償化、保育時間延長など子育て支援の拡充②総合保健福祉施設整備の検討③新交通システムの検討④防災マップ作成、公共施設の耐震化など防災対策強化⑤ワールドマスターズゲームズの開催準備⑥晩霜対策の実施⑦景観条例の制定など、「主な施策の成果」の説明をうけ、事業の成果や課題について検証。主な議論を紹介します。



令和元年度の決算認定を、全議員で構成する決算特別委員会が審議。令和元年度の事業結果や予算の使い方等について質疑を行い、討論、採決の結果、一般会計及び特別会計の決算認定を原案通り可決、認定しました。

## 徴税・未収金

納税や徴収状況は、前年比で町税が約1300万円減、納税率も若干悪化し、国保税や介護保険料の納付率も下降する等、厳しい結果に。質疑では未収金への徴収努力を求める指摘と共に、納税者の実態把握や減免制度の周知・適用、「税機構まかせ」としない丁寧な対応を求める声もありました。

## 暮らし・地域経済

深刻な晩霜被害、消費税率引き上げ等、大きな影響をうけた住民生活と地域経済。町は晩霜被害茶園対策として農薬購入補助を実施し、増税対策ではプレミアム商品券を販売。質疑では、晩霜被害対策の実施を評価する声の一方、「お茶の町」とし

## 定住促進

て対策強化を求める意見も出されました。

人口減少は100人を超え、出生数も10人台に止まりました。定住促進に向け、子育て支援の充実と共に重要なのが住宅の確保です。町は空家バンクの登録増や空家改修補助金、スマートオフィス事業などを実施しましたが、十分な効果は出ていません。質疑では空家活用とともに町営住宅の整備が必要との意見も引き続き「住む場所」の確保が大きな課題です。

## 公共交通の充実

高齢者の免許返納が増える中、公共交通の充実はますます重要に。一方、路線バスの「赤字補填」が3700万円を超え、厳しい運営が

# 晩霜被害、消費税率引上げ、 くらし、生業、まち



保育料無償化など子育て施策の充実



試験運行するゴルフカート



茶畑晩霜被害対策を実施



整備されたマウンテンバイクコース

## 観光・地域振興

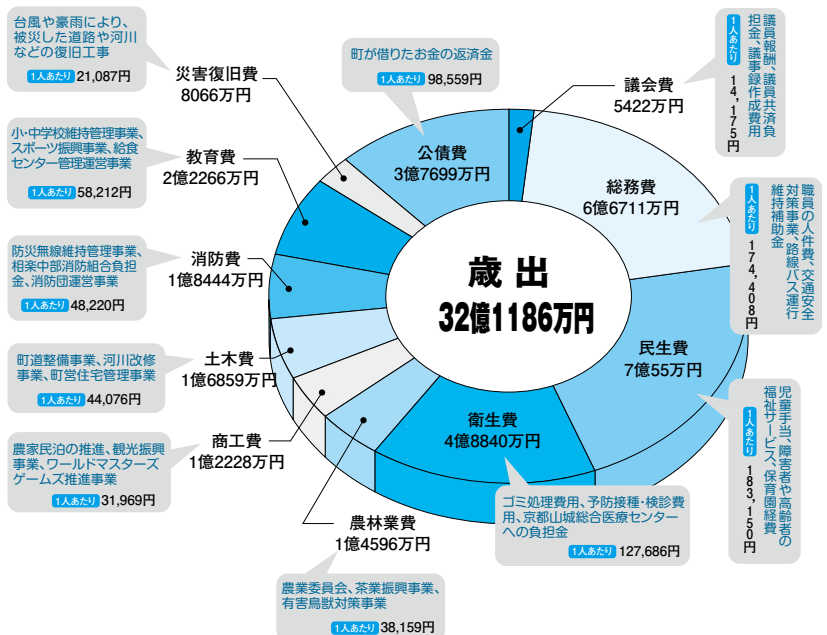
景観条例の施行、ワールドマスターズゲームズ開催に向けた準備と共に、民泊での教育旅行や観光

断する意向です。町は試験運転を継続し判断する意向です。

客の受け入れ、援農体験等のイベント等が活発に行われ交流人口が増加。また湯船地域の活性化に向けた商品開発も行われました。質疑では事業の波及効果や商品の販路拡大への意見と共に、「進捗のない「お茶の駅構想」関連事業について厳しい指摘もありました。

## 令和元年度一般会計決算・歳出の内訳

一般会計決算の歳出のみ円グラフ



※一般会計の決算額をベースにして令和2年3月31日現在の人口3,825人で算出しました。

# 決算特別委員会

# Q&A



どうなる水道料金

**Q** 公共料金、保険料等の納付水道料金の見直しは。  
**A** 料金収入が増えず、応分の負担をお願いしたい。  
**Q** 水道料金の考え方は。  
**A** まだ出せる状態ではない。給水停止の措置は。  
**Q** しなくてもいける状況。  
**A** 国保税滞納者にも保険証を渡しているのか。  
**Q** 短期証明書を発行し納付相談をしている。  
**Q** 介護保険料未収金の対応をどうする。  
**A** 事情を聴き分納等の措置をしている。  
**Q** 生活更生資金の返還は。  
**A** 6件が分割納入、16件が時効。今後は整理を進める。  
**Q** 異常事態であり、安易な貸付ではなかったのか。  
**A** 当時の生活難を支える目的の事業だった。  
**Q** 農業、お茶の振興  
**Q** 農業次世代人材育成資金給付の対象人数は。



コロナ禍の下、期待されるスマートワーク

**Q** 150万円交付が2人、1組に225万円を交付。  
**A** 未就農のケースもあるが、その場合は返金を求める。  
**Q** 水田耕作放棄地の対策は。  
**A** 営農組合など共同で維持管理をお願いしたい。  
**Q** サルの捕獲数は。  
**A** 30頭を捕獲した。群れでの被害が減少傾向。  
**Q** 和束茶を生かした新産業創出事業の内容は。  
**A** 活性化センターに委託し、鉄ミネラル野菜やハーブの開発、栽培をしている。  
**Q** 観光、地域の活性化  
**Q** スマートワーク・イン・レジデンス事業の実績は。  
**A** モニターツアーは7団体22人、オフィス利用は347人。  
**Q** ふるさとイベント誘客促進事業の結果は。  
**A** 料理コンテストでの郷土料理発掘などを実施した。  
**Q** 湯船活性化推進で実施した販路拡大の内容は。



(株)湯船で作られたほうじ茶ペットボトル

**Q** ほうじ茶ペットボトルを千ヶース製作、販売した。  
**Q** ホームページや光ボックスの運用の問題点は。  
**A** 職員が使いにくい機能などを今後改善したい。  
**Q** まちの医療、福祉  
**Q** 診療所の診療収入や患者減少の原因は。  
**A** 施設入所、死亡、転出など考えている。  
**Q** 自殺対策計画策定業務の内容は。  
**A** 東部3町村で策定した。  
**Q** 本町での自殺の現状は。  
**A** 警察の判断だが、一定数はある。  
**Q** 障害者自立支援の内容は。  
**A** グループホームや職業訓練、補装具や医療費給付などがある。  
**Q** 町奨学金制度の拡充は。  
**A** 基金の状況を踏まえ新しい制度の検討を進めたい。

## 反対

## 令和元年度 一般会計決算認定討論

## 賛成

暮らしと地域経済を守り  
支える役割発揮が不十分

課題に着実に対応し、  
将来を見据えた施策を展開

岡本正意議員

①晩霜被害、消費増税等から暮らし、地域経済を支える取組が不十分。徴収は納税者の実態を踏まえた対応を②住宅整備、子育て支援充実で定住促進を③ゴルフカートの一般活用は困難、取組みが後退している④晩霜被害対策は不十分。支援のあり方の検討を⑤景観条例は拙速、見通し不明の「お茶の駅構想」は疑問。地に足つけた検討を⑥広域連合での教育委員会運営は問題。再検討を、の6点の理由から反対する。

厳しい財政状況の中でも、①防災マップ作成、体験交流センターの耐震改修設計など防災体制の整備推進②将来を見据えた総合保健福祉施設や保育所の耐震化検討③保育所の保育料、給食費無償化、児童クラブ・保育所の時間延長など子育て支援の充実④カートによる茶園観光、農泊の受入れ、空家利用など地方創生の進化⑤ワールドマスターズゲームズ開催準備の始動、など総合計画の実現をめざし様々な政策を展開していることを評価し賛成する。

井上武津男議員

# 令和2年度 補正予算



## 茶源郷行政配信システム更新

高齢者  
子どもの

## インフルエンザ予防接種無償に

### 主な質疑

**問** 65歳以上のインフルエンザ予防接種無償化の考えは。

**答** 今年度の65歳以上の予防接種は全額公費負担とする。

**問** 予防接種費用を高校生まで補助できないか。

**答** 今年度はコロナとの同時流行を防ぐ意味から乳幼児から小学校6年生までの無償化でご理解願いたい。

**問** 茶源郷行政配信の今後は。

**答** 住民と役場・社会福祉協議会・商工会・地域包括支援センターと双方向でつながるサービスを構築したい。タブレット型500台・テレビに備え付ける機器60台

**問** の購入を予定。議会で中継も見られるのか。

**答** 来月6月議会までに機械を更新する。

**問** 新規に光ボックスを申請された場合の対応は。

**答** 新規の申請者については来月4月以降に機械を貸与する形で進めたい。

**問** 下水道事業特別会計へ一般会計から382万円持ち出しがあるが、下水道の未収金の回収が必要ではないか。

**答** 建設費用の償還金が残っており、一般会計からの繰入金金の基準の中で運営に努めている。滞納者の徴収は努力している。

**問** 事業者支援給付金とは。

**答** 茶業関係以外の個人・法人事業者に対して1件5万円を給付する。

**問** 農泊コロナ感染予防対策支援金の予防対策とは。

**答** 新規登録を含めて、今後とも協力いただける方に、マスク・消毒液・非接触型の検温器の購入費用として1世帯当たり2万円を考えている。

**問** 町道維持修繕の場所は。

**答** 各区長から要望がある10箇所の小規模修繕を考えている。

**問** 本町のマイナンバーカードの取得状況と今後の拡充・啓発は。

**答** 9月13日現在で395件、今後あらゆる機会を通じて周知していきたい。

**問** マイナンバーカードが増えない要因は。

**答** 独自利用の場面が少ない。今後、健康保険証機能やコンビニ交付実証事業等で交付率を上げていきたい。

**問** 府・京大共同で「茶力テキン」類の感染防止効果を研究」との報道があるが。

**答** お茶を中心としたまちづくりに関する研究は不可欠であり、府にお願いした。

**問** 高齢化が進む本町に診療所は必要、医師の確保の状況は。

**答** 診療所の役割は重要、医師の確保は府にお願いしている。

**問** 所得割と均等割の課税分が減額となっているが。

**答** 特に農業所得の減少により、課税標準の所得割の部分で大きな減額の要因となっている。

<b>【一般会計】</b>	
予算に9450万円を追加。 主な事業は次のとおりです。	
▽下水道事業特別会計繰出金	382万円
▽住基システム改修負担金 (コンビニ交付対応)	594万円
▽茶源郷行政情報配信システム更新委託料等	3410万円
▽新生児特別定額給付金	200万円
▽有害鳥獣関係事業補助金	635万円
▽事業者応援給付金	1610万円
▽農泊新型コロナウイルス感染予防対策支援金	140万円
▽町道維持修繕工事	500万円
▽農業用施設災害復旧工事費	580万円
▽道路橋梁災害復旧工事費	800万円
<b>【国民健康保険特別会計】</b>	
事業勘定予算から350万円を減額。	
▽事業費納付金	△559万円
<b>【簡易水道事業特別会計】</b>	
予算に1820万円を追加。	
▽総合簡易水道整備工事	2000万円
<b>【下水道事業特別会計】</b>	
予算に400万円を追加。	
▽修繕費	636万円
<b>【介護保険特別会計】</b>	
予算に60万円を追加。	
▽過誤納還付金 (コロナ減免)	50万円



耐震補強される体験交流センター

契約等

▽土地改良事業の施工

事業名 災害復旧事業

工事名 農地農業施設災害普及工事

内容 令和2年発生災害1件

金額 500万円

▽体験交流センター耐震補強及び改

修工事請負契約の締結

場所 和東町大字中地内

契約金額 6864万円

契約の相手 井上・山城特定建設

工事共同企業体

契約の方法 一般競争入札

契約等の主な質疑

問 体験交流センターの工事で広域

連合の事務や利用者への影響は。

駐車場の安全対策や交通整理は。

答 外部工事を中心となるピタコラ

ム工法で補強するため、最大限使

える形で行う。また、駐車場等も

万全な安全対策を図っていきたい。

問 1階のみの補強と2階までの補

強部分があるが十分なのか。

答 耐震審査結果に基づき補強が必

要な箇所としている。

監査委員選任に同意

前監査委員の任期満了に伴い、新しい監査委員に次の方を選任され同意しました。

大西 茂 氏

(任期 令和2年11月19日から4年間)

人権擁護委員の推薦について

任期満了に伴い、次の方の選任について諮問があり、再任することでお答えしました。

飯田 妙子 氏

(任期 令和3年1月1日から4年間)

意見書

通所系及び短期入所系介護サービスでの新型コロナウイルス対策による介護報酬の特例措置を見直し、公費補填による減収対策を求める意見書

提出者 岡本正意 議員

否決

賛成者 賛成者 4人

反対者 反対者 4人

賛成者、反対者同数により議長裁決

各議員の賛否

令和2年第3回定例会(9月)に、提出された議案のうち賛否がわかれたもの

審議結果	会議区分	議案名	議員名									
			岡田 勇	高山 豊彦	藤井 清隆	村山 一彦	吉田 哲也	井上 武津男	岡田 泰正	岡本 正意	畑 武志	小西 啓
認定	委	令和元年度和東町一般会計歳入歳出決算認定について	欠	○	○	○	○	○	-	×	○	○
認定	委	令和元年度和東町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	欠	○	○	○	○	○	-	×	○	○
認定	委	令和元年度和東町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	欠	○	○	○	○	○	-	×	○	○
認定	委	令和元年度和東町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	欠	○	○	○	○	○	-	×	○	○
認定	委	令和元年度和東町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	欠	○	○	○	○	○	-	×	○	○
否決	本	通所系及び短期入所系介護サービスでの新型コロナウイルス対策による介護報酬の特例措置を見直し、公費補填による減収対策を求める意見書	欠	×	○	×	○	×	×	○	○	×

※会議区分 本は本会議 委は決算特別委員会 ○は賛成 ×は反対 -は採決に加わらない 欠は欠席。

小西啓議長は本会議の採決に、岡田泰正決算特別委員長は決算認定の採決に加わりませんが、賛成、反対が同数の場合、裁決されます。

# 一般質問

# 町政を問う！ 提案する！

9月10日に行った一般質問には、4人の議員が質問に立ち、町長等に対して様々な課題についてたどしました。各議員の質問項目を紹介します。

## ①高山 豊彦 議員（8ページ）

1. 農業を維持・継続するための対策は
2. 安全な生活環境の確保を
3. SDGsの目標達成の取り組みが重要では

## ②村山 一彦 議員（9ページ）

1. ふるさと納税の状況は
2. コロナ感染症対策、PCR検査等の状況は

## ③岡田 泰正 議員（10ページ）

1. 地域力の向上はブランド力となる今後のまちづくりは

## ④岡本 正意 議員（11ページ）

1. 今秋、冬の新型コロナウイルス感染対策の方向性、対応は
2. 町の医療、保健、介護、福祉を担うマンパワーの確保を
3. シルバー人材センターの設立準備の現状は

**一般質問**は、町の行財政全般にわたる議員主導による政策論議です。

質問時間は答弁を含め1時間以内で、時間内に何度でも質問できます。記事は質問順で、内容は本人から提出された要約原稿です。

詳細は、後日ホームページに掲載する議事録でご確認ください。



# 国連のSDGs（持続可能な開発目標）の取り組みは重要と考えるが！

高山 豊彦 議員



## 町長

SDGsの「誰一人取り残さない」との原則は重要な理念、第5次総合計画の持続可能なまちづくりの指針としたい。

**農業を維持・継続するための対策は**

**問** 農家の高齢等による荒廃農地対策は。

**答** 町長 共同化や農地の集約化、家族農業を維持するための援農や、移住促進に取り組んできた。

**答** 農村振興課長

優良農地の有効利用や担い手への貸し出し等、農業委員会等で地域ごとに協議をお願いしている。

**問** 厚労省の「実践型地域雇用創造事業」による和東町雇用促進協議会の今後の事業体制は。

**答** 町長

事業形態が大きく改正され継続することは難しい。農林水産省の新たなプロジェクトに応募している。

**答** 農村振興課長

今の厚労省の事業は、本来3年間で終了する事業として、地元で根付かせるような事業の普及に努力いただいている。



荒廃農地の対策は

**安全な生活環境の確保の取り組みは**

**問** 長年放置されている空き家や住みついでいる動物による被害の対策は

**答** 農村振興課長

道路や施設に被害が及ぶ状況があれば所有者に対処をお願いする。また、人に危害を加えるような、どう猛な動物は安全確保のため対応するが、小動物は住民の方で処理願いたい。

**問** 地域自主防災体制の現状は。

**答** 町長

昨年2月に各区長、消防団員が参加し災害時の役割等について学習を深めた。警報発令時には各区の役員の皆さんや民生児童委員、町職員が協力し対応する。

**問** コロナ禍における避難所の確保は。

**答** 総務課長

グリーンティ和東を加え10か所を確保、いきいきこども館、教育集会所の空調設備工事の完了後、避難所として利用できるよう手続きを進めている。

**問** 高齢者等の避難誘導体制は。

**答** 総務課長

警報が発令された場合、区や消防団の皆さんに非難の声かけや避難所までの送迎をしていただいている。

**問** 防災マップでは「自主避難等は自主的に地区集会所等安全な場所に避難する」と記載されている

が。

**答** 総務課長

公民館や集会所は警報が出るまでの一時的な避難所として了解をいただいている。土砂災害等の危険性がある場合は、広域避難場所への移動が基本と考える。

**問** 高齢者等の一時避難場所や避難の方法については周知が必要と考えるが。

**答** 総務課長

社協と協力して講座等を開催している。区でも防災マップの避難経路や方法など勉強会をお願いしたい。



心配される空き家対策





# ふるさと納税の寄付が伸びていない。どう考えているのか

村山 一彦 議員

## 町長

返礼品として秋吉久美子氏のコンセプトのもと作製された茶器セットを用意している。又、企業等と連携した取組を進めて行きたい

**問** 昨年度のふるさと納税寄付額は75万円。一昨年の120万円より減少になっている。要因は。

**答** 総務課長

昨年6月に法律の改正があり、一部の市町村が駆け込み募集を行った。又、自然災害の支援として被災された市町村へのふるさと納税制度が活用されて寄付を集められた。

**問** 町民が他自治体に寄付した金額は。

**答** 税住民課長

39名、252万円、町民税への影響額としては109万円である。

**問** 宇治田原町は担当者2名で取り組んでいる。和東町は1名であり増やす考えは。

**答** 町長

参考になさしてもらおう。

**問** 和東町の返礼品にお茶セットが多数あるがごこのお茶か。

**答** 総務課長

和東茶カフェから購入し

ている。

**問** 返礼品の提供者の名前を出すべきと考えるが。

**答**

和東茶カフェ以外で購入するとなれば商工会を通じてとなるが、今後の検討課題である。

**問** 返礼品はお茶に特化しているが和東町にはおいしい米、シイタケもある。公募してはどうか。

**答** 町長

全企業、全農家を挙げて、商工会を含めての基盤づくり、仕組みづくりをまずやってみる必要がある。

**問** 大手百貨店からふるさと納税に協力したいと申し出がある。聞いていますか。

**答** 総務課長

茶の取扱業者の事業所が和東町内がないので少し待って

もらっている。

**問** 返礼品を増やすべきでは。宇治田原町は211品目、和東町は18品目。

**答** 総務課長

10月から返礼品の見直しを予定している。

**問** 専用サイトが「ふるさとチョイス」だけだがもっと増やしてはどうか。

**答** 総務課長

企業等と連携した取組を検討していきたい。

## コロナ感染者への対応は

**問** 体調が悪くなった場合、PCR検査は受けられるのか。その手順や、費用の目安は。

**答** 福祉課長

まずかかりつけ医に相談。諸症状を確認し保健所に相談、判断される。

**問** 家族に感染者が出た場合、他の家族は濃厚接触者となり検査を余儀なくされるが費用の負担は。

**答** 福祉課長

発熱などの症状があり検査が必要とされれば医療保険適用の検査となり、自己負担分も公費負担となる。

**問** 和東町で感染者第一号が出た場合、地域の動揺、誹謗中傷を防ぐため町長の生の声で住民に伝える必要があると考えるが。

**答** 町長

何が一番効果上がるのかを考えたい。生の声がいいというならその方向からも考えたい。



秋吉久美子氏コンセプトのもと作製された茶器セット



岡田 泰正 議員

# 地域力の向上は 地域のブランド力になる

## 町長

## 価値を創造し事業継続性が地域力の ブランド力になる

**問** 本町から半径100キロのエリアの中に5つの政令都市（京都市、大阪市、堺市、神戸市、名古屋市）、また4つの県庁所在地も含まれるこれらの地域

の孤立する不安が払拭され安心、安全が担保される。企業誘致の問題、地域環境の整備等をアピール出来る。

**問** トンネル開通により何が変わるか。

**答** 町長 開通により大きく生活、産業面で変貌する。お茶の入札場への搬入はスムーズに、観光面では京都市からのルートが開け、災害時に

**問** 令和5年度末の犬打峠の開通を見据え宇治市、宇治田原町、和束町の三市町で、地域産業を軸に広域連携を想定した町づくりを。

**答** 町長 近隣市町村との連携は大きなキーワードである。広域行政、連携できるように取り組む。第5次総合計画で議論を深めたい。

**問** 町の人ロビジョンよりマインナスが大きくなり少子化の減少が見込まれる。人口減少の抑制を図るため、空き家バンクの登録、お試し

**答** 地域力推進課長 労働者の減少を補うには援農支援を町外等に求め、家族農業を大事にしつつ民間の組織と絡みながら、生業を大事に農山村の魅力を発信していきたい。

**問** 想定以上に人口減少が進んでいる。基幹産業のお茶の振興に不安を感じるが、今後の振興策は。

**答** 町長 定住人口と共に地域外の人材が担い手となる事が期待できる。

**問** 移住体験を呼び掛けている。住民と協働し農業体験、宿泊体験を進めて、地域の活力を盛り上げていきたい。

**答** 町長 中部国際空港（セントレア）を利用する方が関空よりも便利になるだろう。本当に夢のある社会と思う。それに向けた計画を位置づけていく。

**問** 町内で稼いだ富は町内で循環するには何が必要で、何が足りないのか。

**答** 町長 お茶生産に絡む機械、肥料、農薬は町内で循環している。問題は生活消費が近隣市町村に流出しており、ここが大きな課題だ。お金の還流が見込める商店街づくりや工夫し、町内で循環出来るシステムづくりが大事である。

**問** 高齢化率が高くなるなかで元気な高齢者が活躍できる環境整備の拡充について。

**答** 町長 高齢者がいつまでも元気で働ける農福連携を大きな

**問** アフターコロナで関係人口の獲得にテレワークを獲得せよ。

**答** 地域力推進課長 コロナ禍で生活様式が変わり交流の在り方も変化しつつある。サテライトオフィスを拠点に和束の魅力を発信し移住定住、交流人口の拡大に向けテレワーカーの獲得に努めたい。



犬打峠トンネル早期完成標柱設置

**問** 柱に育てる。

**答** 福祉課長 荒廃農地の活用を今後研究して、土に親しんで野菜作りとか農作業に親しみ気の合った方々と第2の人生を楽しんでもらえる場を考えていきたい。

**問** アフターコロナで関係人口の獲得にテレワークを獲得せよ。

**答** 地域力推進課長 コロナ禍で生活様式が変わり交流の在り方も変化しつつある。サテライトオフィスを拠点に和束の魅力を発信し移住定住、交流人口の拡大に向けテレワーカーの獲得に努めたい。

**問** アフターコロナで関係人口の獲得にテレワークを獲得せよ。

**答** 地域力推進課長 コロナ禍で生活様式が変わり交流の在り方も変化しつつある。サテライトオフィスを拠点に和束の魅力を発信し移住定住、交流人口の拡大に向けテレワーカーの獲得に努めたい。



# 新型コロナとインフルエンザの同時流行への備えは

岡本 正意 議員

## 住民が安心できる体制づくりに努力したい

### 町長

**問** PCR検査等は町内医療機関で可能か。相楽地域での検査センター整備は。

**答** 町長

スタッフ体制等の関係で非常に困難。府は検査センターを5か所設置で調整中。

**問** 身近な医療機関での検査や診療体制整備を。

**答** 町長

住民が安心できる体制を整えていきたい。

**答** 福祉課長

相楽医療圏で検討している。

**問** 患者の受入れ、医療・療養体制について①重症患者の受入れは②相楽休日診療所での対応は③無症状、軽症者の療養施設を南部でも確保を④自宅待機のケア体制は⑤保護者が感染した場合の子どものケアは。

**答** 町長

①重症患者は高次医療機関へ搬送、治療を行っている。

**答** 福祉課長

②事前連絡で受診判断を



身近な医療機関でPCR検査を

行う予定だが、現在も対応を検討中。③確保への課題、誹謗中傷の心配もあり、今後も検討する。④外部接触を避け、保健所による経過観察を行う。⑤親戚等への依頼、一時預かり施設での対応が考えられる。

**問** 診療・検査機関の公表、情報提供を。

**答** 福祉課長

どんな形が一番良いかを協議していく。

**問** インフルエンザ予防接種の実施方針は。補助の拡充を。

**答** 町長

開始時期を早める。子どもへの補助対象を小学生まで拡充した。

**問** 感染者や医療従事者等への誹謗中傷や差別を許さないメッセージ発信を。

**答** 町長

人権侵害は許されない。啓発を十分行いたい。

**医療、保健・介護等のマンパワーをどう確保するか**

**問** 総合保健福祉施設整備、今後の退職も見据えた方針は。

**答** 町長

専門職の欠員補充は非常に困難があるが、確保に努めたい。

**問** 診療所の医師確保の取組みは。

**答** 町長

非常に大きな課題。引き続き努力していく。

**問** 栄養士、OT、PTなど専門職の配置を。

**答** 福祉課長

総合計画等で今後も協議していきたい。

※OT：作業療法士  
PT：理学療法士

**問** 診療所で訪問看護の再開を。

**答** 福祉課長

検討を進めていきたい。

**シルバー人材センターの準備状況は**

**問** この間の協議、検討状況は。

**答** 町長

先進地視察を行い、現在アンケートを実施。結果をふまえ早い時期にと考えている。

**問** いつ頃を目途に開設する方向か。

**答** 町長

早期に方向を明らかにしていきたい。

総務厚生常任委員会

住民目線の  
第5次総合計画を期待

岡田(泰)  
村山・高山  
井上・小西

8月26日、令和2年度事業の進捗状況や令和元年度決算の概要等について事務調査を行った。

総務課

○茶源郷まつりは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、10月から11月にかけてオンラインでPR動画などを配信する。

○令和3年度からの第5次総合計画の策定は9月に第1回会議を開催する。

○和東小学校にマンホールトイレ10基の設置工事入札に向け準備している。

○特別定額給付金は1699世帯から申請、99.6%の給付率となった。

税住民課

○マイナンバーカードを活用し住民票や印鑑証明書をコンビニで交付できる実証実験を令和3年2月から3月に行う。終了後も継続して利用提供し住民の利便性向上に努める。

委員からの意見や質問

問 ホームページの更新内容は。

答 職員の意見を聞き、近隣のホームページを参考に検討している。

問 行政全般の事や議会中継の動画配信など、住民が身近に感じられる工夫を。

答 予算の範囲内で考えていきたい。

問 第5次総合計画の策定は若い人の意見も反映できる委員会構成を。

答 住民アンケートやワークショップも開催予定。

問 災害警報で避難は食料や飲み物持参と聞いたが。

答 アレルギード対策等、基本は事前に準備願いたい。

問 税の滞納は機械的な処理ではなく、一層の徴収努力を。

答 現年分はチェックをかけて注意している。

問 「お悔みハンドブック」

の取り組みは。

答 お悔みのワンストップサービスは必要、検討する。

問 路線バスの11時台がなく不便との声がある。

答 国庫補助の関係から13往復で設定。小中学校と相談し奈良交通と協議する。

問 白栖バス停移設の協議結果は。

答 加茂向きは歩道がないため難しい。

問 海洋センタープールの屋根の改修は。

答 修繕に数千万円かかり、寒冷紗を利用し屋外型プールとして運営している。

問 防犯灯やカーブミラーの管理は。

答 多くの防犯灯は区の管理、カーブミラーは連絡があれば町で対応する。

問 コロナ対策臨時交付金の使途は十分検討を。

答 知恵を出し合って検討したい。



屋根に寒冷紗をかけた海洋センタープール

広域連合議会報告

相楽東部広域連合議会

GIGAスクール構想に係るタブレット購入

第2回定例会が、7月21日に開催された。一般質問では3名が、再生可能エネルギーの活用や生ごみの資源化、教育のICT環境整備などについて質問。2年度の補正予算は、9312万3000円を増額し、小・中学校のGIGAスクール構想に係る児童・生徒へのタブレットの購入が主なものとなっている。家庭の通信環境の整備状況や次期更新時の費用負担などについて質問され、賛成者全員で可決した。

京都地方税機構広域連合議会

副連合長・監査委員を選任

第2回定例会が、8月7日に開催された。7名の議員が新しく連合議員に就任した。副連合長に古川京都府副知事を選任し、監査委員に篠塚京丹波町議員を選任しそれぞれ同意した。一般質問では2名が、コロナ禍の下、税機構の対応や役割、賦課徴収業務への影響や納税の猶予など質問。また、令和元年度決算について賛成者多数で認定。新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえたより丁寧な対応を求める決議が提案され、賛成者少数で否決した。

産業常任委員会

動きだした

中区祝橋整備事業

吉田 藤井・岡本 畑・岡田(勇)

8月27日、令和2年度事業の進捗状況や令和元年度決算の概要等について事務調査を行った。

地域力推進課

10月から地域おこし協力隊が3名体制となった。

和東茶の販路拡大に向けた農家等への支援に、コロナ対策としてインターネット販売の構築費用が対象となった。

教育観光ではコロナの影響を受け、今年は予約全てキャンセルとなった。現時点で今後の予約も受けているが状況によってはキャンセルの可能性もある。インバウンドについても同様である。伝統的建造物調査として湯船地域の建物6件を調査した。

10月から11月までゴルフカートの試験運行を石寺・東和東・西和東ルートで実施する。

空家バンクの登録件数は10件。

農村振興課

茶業経営支援給付金、現時点で195件に給付している。

茶源郷和東生活応援商品券の交付は、1812万円の使用は12月末まで。京都府茶品評会で町内の方が1位、2位、4位に入賞された。

建設事業課

中区祝橋整備事業は設計が終わり、9月に2回目の地元説明会を開催する。今年度は橋の落橋、周辺の整備を予定している。

石寺橋整備事業は、現時点で法線等の確認を行っている。

委員からの意見や質問

問 GOTOトラベルで和東荘は対象になるのか。

答 具体的に通知は来ていないが、対象の方向で進んでいる。

問 おもてなし茶室はどう活用するのか。

答 組み立てて式を考えている。農家民宿で使っていたいたり農家さんが自分の畑で使いたいとの声もある。

町道園区線の進捗は。

答 今年は測量のみ。工事は来年度になる予定。

問 もっと早期にとの声も出ているが。

答 用地なども協力していただいているが、他の事業との流れもあり、改めて地元で説明しながら行政不信を招かないように進めていきたい。

問 アーティストインレジデンスの事業内容は。

答 アーティスト5名が、9月から10月に和東町で作品を作られ、10月末から2週間ほど展示される。

広域連合議会報告

京都府後期高齢者医療広域連合議会

副連合長・公平委員会委員を選任

第2回定例会が、8月28日に開催された。副連合長に古川京都府副知事と安田向日市長を選任し同意した。公平委員会委員には、井手町の上島勝廣氏を選任した。令和元年度決算について賛成者多数で認定。2年度の補正予算は、国・府支出金等の返還金で10億9074万円を増額し、賛成者全員で可決した。3件の請願書は不採択となった。

東部クリーンセンターの今年の取り組みは。

答 テールアルメの危険箇所への解決も必要。今後の処理計画や残務整理もあり、東部連合議会でも、方向性が説明される。

仮に再稼働しない場合、施設はどうなるのか。

答 自然に近いような形に戻す必要がある。意見を聞きながら考えたい。

農産物直売所のオープンは。

答 12月議会で条例制定を予定しているので、来年以降になる。

グリーンスローモビリティ、試走をしたが見通し



新設される中区祝橋

まちの  
“元気”を  
訪ねて

# “人とのつながりの中での学びの大切さ痛感”

～和東小学校 竹花 真治 校長先生～



**Q** 以前、和東小で教鞭をとられていたそうですね。久しぶりの和東小や和東町への思いは？

**A** 新任での赴任先が和東町で、旧中和東小に4年、統合された和東小に8年、お世話になった。和東は、自分を育ててもらった場所、そして、故郷としての思いがある。その時の先輩の先生方と、子どもたちや保護者が、しっかりとつながっている光景に憧れた。また19年ぶりに、この町に戻れたことをうれしく思い、校長として子どもたちや町のために貢献したい。

**Q** コロナ禍の中で考えたことは？

**A** 人とのつながりの中で、遊んだり学んだりする、学校という場の大切さを痛感した。今後、もし休校等があれば、ICTをうまく活用しながら取組みたい。「Withコロナ」の時代、様々な行事は「できる方策」を探りながら、周りの協力を得ながら出来る限り実施したい。

**Q** コロナ禍を体験している子どもたちに伝えたいことは？

**A** 困難に直面した時、諦めるのではなく、何か突破口を見出すたくましさを持つてほしい。学校での学習を礎に、様々な問題を解決していつてもらいたい。

**Q** 地域サポーターを募集されていますが、どんな取組みですか。どんな思いを込めて募集され、反応はいかがですか？

**A** 子どもたちを育てるのは学校だけでなく、地域の方々の力を借り、よりパワーアップして一緒に育てていきたい。取組を地域に発信し、双方の形で、和東小をコミュニティの核の場にしたい。サポーターを募集し、たくさん応募いただいている。子どもたちが、様々な方に関わっていただいたことに感謝し、いつか将来、自分達も、学校や地域に貢献していくサイクルになってほしい。学校、家庭、地域がしっかりとつながることが大事だ。

**Q** いま、学校の役割が問い直されています。先生にとってズバリ学校とは？

**A** 物事に一生懸命取り組み、様々な人となりがり、その中で多くの「感動」を味わえることができる場所。たくさんさんの「感動」を、すばらしいスタッフとともに創り出し、子どもたちの「心」を磨いていきたい。

(取材 岡本正意・井上武津男)



和東小学校 教職員のみなさん

## 編集後記

令和2年は波乱の年となった。新型コロナウイルスが感染による世界的なパンデミック。さらに地球温暖化現象による夏の異常気象とも思える高温、洪水等の被害が各地で発生し、世界経済の後退、1929年の世界恐慌を思わせる事態となった。

国や地方は色々な方策を取り、この事態を解消すべく、個人、法人、農家、全てに対して現金給付措置などを行った。先の見えない不安は、世界の政治・経済を不安定にするのが、いにしえからの常である。

コロナ禍は、生活様式を変え時代の流れを変えるがごとく、人類の英知でやがて収束を迎える事になると思う。数年後振り返った時、単なる風邪(感冒)で、大変な時代だったなあと思われる時がきてほしいものだ。

(井上 武津男)

## 広報編集委員会

- 委員長 岡本正意
- 副委員長 井上武津男
- 委員 高山豊彦
- 委員 畑武志
- 委員 岡田勇

第4回定例会は、12月11日開催予定。傍聴にお越しく下さい。